

寄地区の振興と定住対策



質問者
飯田 一 議員

(1) 寄地区ホームページ作成の進捗状況は

23年度当初予算において、寄地区の振興を目的としたホームページ作成の為の予算が計上されたが、2月20日時点ではまだ開設されていないようだが進捗状況は。

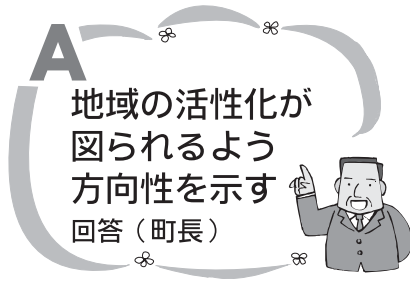
(2) 寄自然休養村管理センターの活用について

管理センター1階部分の広々としたスペースを、直売所として利用することとした。今後どのように進めますか。

(3) デマンドバスの実証運行事業について

平成24年度では上半期（4月～9月）で実証運行事業が終了し、その後は寄地区の住民

団体による運営を考えているようですが、見通しは。



(1) ライブカメラを設置し、施設などの状況がリアルタイムでわかるようにする。また、来訪者が撮影した草花や風景などを掲載できる仕組み、町内の商店情報、お土産が購入できる店の紹介など工夫を取り入れ、年度末の完成を目的に取り組んで

いる。

(2) 特産品開発事業の研究・成果をふまえて、期待にこたえられるよう施設整備や情報提供などに力を注ぎ、その管理運営は地元の方々にお願いしたい。

(3) 利用者が多かつた便

を重点に、1台の車で運行する予定だ。9月以降の運行については、地元の組織を活用してNPOなどを組織し「地域に必要な足は地域で確保」という目標を定め、自主運行を促したいと考えている。

空き家・空アパート対策について



質問者
石内 浩 議員

定住化促進に向け、計画あっても具体的な進展に結びつかなければならぬ。今後とも大きな宅地開発が考えられない中で、以下の点につき伺いたい。

(1) 空き家、空アパートの現状と「定住化促進に向けて」で作成したパンフレットの反応は、また、他町の良いとこ取りなどの検討はあるのか。

(2) 松田町における社協のリバースモーゲージ制度（不動産担保型生活資金の貸付け）の活用状況は。
(3) 中古住宅保証制度等を活用し、特に生産年齢世代の所帯に入居して頂くため空き家、空アパートの質的レベルアップが不可欠、町の支援を含めた基準づくりなども必要と思われるが、どうか。

定住化に向けた新しい施策を！

回答(町長)



(1) 町で調査の貸家等178戸の入居率は71%。昨年は自治会長からの情報も受け、町のホームページに「空家バンク」を立ち上げた。定住化促進リーフレットは、小田急等各駅に無料で配布いただいた。また、具体的な問い合わせはない。

(2) 「リバースモーゲージ制度」は、厚労省が創設した「生活福祉資金貸付制度」を各県社協が引き受け、町社協が申込み窓口となっている。これまでに借入れの事例はないが、制度の認識を深めて頂くため、その対応について指導していく。
(3) 「空家等の質的レベルアップ」は、定住化促進にとって必要。貸家に限らず、一定規模のリフォームを対象とした「住宅リフォーム助成制度」を調査・研究し、立ち上げていきたい。



定住化促進リーフレット